

第 12 回 ウィリアムズ症候群外来

開催日 令和 1 年 6 月 14 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分

場所 埼玉県立小児医療センター6 階 講堂

参加者家族 18 家族（埼玉県 14 家族、県外 4 家族）

お子さんの年齢：1 歳～14 歳

内容 【第 1 部】研修会「作業療法の視点によるウィリアムズ症候群のお子さんの
発達特性とその支援」

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション部 平田樹伸先生

埼玉県立小児医療センター 岡田洋一作業療法士

【第 2 部】交流会



第 1 部 研修会

❁埼玉医科大学総合医療センター作業療法士の平田先生より、下記のお話がありました。

ウィリアムズ症候群の子育てについて
（運動面、言語面、食事、認知、行動面、
対人関係、親としてできること）

❁講演の最後に、ご家族からたくさんの
質問をいただき、平田先生と当センター
岡田作業療法士から回答がありました。



研修会の様子

第 2 部 交流会

❁交流会では、全員でお子さんの写真を見ながら自己紹介を行いました。

- ・お子さんの自慢として、笑顔がかわいい、楽天的、明るい、面白い、などが挙がりました。
- ・中学生のお姉さんから、将来の夢として、障がいのある人を励ましたい、ペットショップで障がいのある人のための犬を仲介したいというお話がありました。

❁最後に、集合写真を撮って自由交流し、終了となりました。



アンケートでは、下記のコメントをいただきました。

- ・講演会について：親としてできることを深く考えることこそ
日々の子育てを豊かに楽しむヒントだと思った、色々とお話を聞いて家でもなにかやってみようと思った、具体的にできそうなサポートのお話が多くなった、など。
- ・交流会について：それぞれの家庭での悩みや、体験談など聞けてよかった。お兄さんやお姉さんの話を聞くことができ、未来に希望が持てた、自分一人でないと思えた、中学生のお子さんと一緒にいた家族がいて嬉しく、しっかり育てていこうと励みになった、など。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。